

1 学校関係者評価委員会の総評

- ・どの学級も児童が落ち着いて授業に取り組むことができた。また、笑顔で学び会えていたのがよい。
- ・朝のランニングや縄跳び、鉄棒練習など児童が目標を持って楽しく運動に取り組んでいる。
- ・米づくりなどの体験活動や校外活動、登下校の見守りなど、地域の方々へ感謝の気持ちを込めて「納場っ子 夢 未来 フェスタ」で発表できているのが素晴らしい。
- ・課題設定の工夫や興味・関心を高めるきっかけを作りながら、児童の自主性・自立性を高めて欲しい。

2 分野別評価

分野	学校の取組に対する評価と今後の改善点
学 力 向 上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で児童同士の学び合いが多く見られた。笑顔で隣の子に教えていて、知識の定着だけではなく、思いやりが感じられた。 ・作品に先生のコメントだけではなく、児童同士が評価しているものもあり、楽しく学び合っているのが分かる。 ・授業の中で、児童の間違った発表を上手にフォローしている姿がとても良かった。児童が大切にされているのがわかる。 ・読書が習慣化しており、ほとんどの児童が50冊を読破できているのが素晴らしい。 (今後の改善点) ・研修として取り組んできた「読むこと」を「書くこと」につなげて、さらに基礎基本を高めて欲しい。
特 別 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・「納場っ子 夢 未来フェスタ」では、どの学年も工夫を凝らした発表が見られた。 ・米づくり（田植え、稲刈り、脱穀）はペア学年で活動し、上級生が下級生を優しく教えながら活動できていた。土に触れる体験活動は今後も大切に継続して欲しい。 ・持久走大会では、最後まであきらめずに頑張っている児童の姿を見ることができた。それに大きな声で声援を送る児童の姿もよかった。 ・なわとび大会に向けて各学年の記録や県のランキングが掲示され、学校全体で意欲の高まりが感じられた。 (改善点) ・授業時間の確保と教育効果を考慮し、行事の見直しを図る必要がある。
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> ・納場コミュニティ、子ども会育成会、小美玉市民の会との連携により、地域ぐるみの教育活動が展開されている。 ・児童の体験活動、登下校の見守り、学校の環境整備など、地域人材を活用しながら効果的に行われている。 ・家庭訪問は、その家に入って親子そろって話をすることにより見えてくることが多い。今後も継続して欲しい。 (改善点) ・児童が登下校でトイレを借りることがある。また、児童の安全な登下校のためにも「110番の家」の登録件数拡大に努めて欲しい。